

記入年月日:令和 7 年 1 月 31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	40%	60%	0%	一般住宅転用の為、日によって利用人数の違いもありスペース自体は手狭と感じる時もあるので、活動内容や場所(室内外)の工夫で対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	80%	20%	0%	法的には満たしているが、日による利用者人数や活動内容によっては負担度が違うので、活動展開に考慮している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	20%	20%	60%	今のところ利用者が不自由さを感じることなく進められているが、必要になった場合は設備改善も検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	基本塾の全体会で討議し、各事業所にて実践・振り返り・改善を盛り込んで進めるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	全家庭にアンケート依頼し集計評価を受けるとともに、面談やサービス提供記録簿にてニーズに即した支援を心掛けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%	0%	パート従業員や新しい職員は公開情報を知らないこともあり、今後公開されたら知らせるようにしたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	40%	0%	外部評価に関してパート従業員にまで周知されてなかったので周知して業務改善に繋げたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	定期的に専門家の講師を招聘して研修会を開き、職員の資質及び技術工場に努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	日々児童一人ひとりの実態把握に努めるとともに、保護者のニーズを含めたケース会議を開いて問題解決のため計画実践に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	児童一人一人の分析結果を支援計画に盛り込んで実践しているが、更に効果的なツールがあれば活用したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	主任を中心に各々が考えた教材、活動を全体で協議しより効果的なものにして実践に努めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	児童の実態把握に努めながら、より有効かつ魅力ある教材開発を進めながら実践している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	86%	14%	0%	利用児童状況やスタッフの勤務体制を加味しながら、また季節に合った活動を計画し活動の充実を図っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	常に児童の実態考慮した事前の話し合いを基に活動計画を立てて実践に心掛けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	スタッフの勤務状況に合わせて活動内容及び役割分担し支援の充実を図って進めている。日によって翌日の打ち合わせに組み込むこともある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	60%	40%	0%	帰りの清掃等の最優先作業後、時間が取れない場合は次の日の開始前に事前打ち合わせをして対応している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	諸々の活動記録を残すよう努め、継続支援に繋がるよう心掛けて実践している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	専門的知識がある担当職員が実施し、有効活用している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	0%	0%	ガイドラインに合わせた支援の基本に則り、実践に努めている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	理事長を中心に会議に参加し協議内容の報告を受け支援に繋げている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	担当職員を中心に協力体制のもと連絡調整しながら情報共有し合って漏れ落ちにない心掛け実践している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%	60%	0%	今のところ医療的ケアが必要な利用者はいないが、有事に備えて連絡体制を整え対応できるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60%	40%	0%	必要に応じて情報を得るように努め、互いに情報提供して相互理解に努めている頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	現在は該当者がいないが、昨年開設した社会人(就労)応援センターとの連携を図り支援の充実を図っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	40%	0%	該当者がなく交流の機会は設けてないが、今後必要が生じた場合は検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	80%	20%	0%	同種の期間と情報交換はある。また公園等で近隣の子ども達と遊ぶことはあるが、今後必要に応じて他機関と連絡をとり、機会を持ちたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	80%	20%	0%	必要に応じて代表者が参加する程度である。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	連絡ノートや電話連絡等を利用して共通理解を図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	80%	20%	0%	専門知識のある講師を招聘して、各職員が研修会等で支援の仕方の向上を図り、保護者会でも日頃の悩み事の学習会を実施している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に説明し、また面談等の折にその都度支援内容について協議して理解して頂いている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	スタッフと話し合い解決策を講じると共に、必要に応じて理事長に助言をもらい問題解決に努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	定期的に保護者会を開き、子育ての悩みや支援の仕方等の学習を進めて連携できるようにしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	契約時に保護者に周知し、窓口職員も決めての体制。発生した場合は丁寧かつ迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	基本塾全体として毎月定期的に「優遊だより」を発行し情報を発信して理解に努めている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	情報の漏洩に十分配慮し、金庫に収納し施錠して保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	薬の服用や通院等、また日常におけるアレルギー等も情報共有し合って対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	80%	20%	0%	塾全体の活動として、地域に呼びかけて定期的に活動及び作品等公開を実施して理解を図っている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	緊急対応マニュアルは各家庭に配布し、他のマニュアルについても塾だよりで知らせている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	定期的に避難訓練を実施し、意識の高揚と安全な生活が送れるよう配慮している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待マニュアルを作成し職員に周知して共通理解のもと徹底を図っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	具体的な身体拘束場面を想定し、職員間で共通理解を図るとともに文書にて保護者にも知らせている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	60%	40%	0%	年度初めにアンケートを取り、またその後の経過状況など確認し合いながら対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%	0%	マニュアルに従い作成し職員発生した場合は検討会を開き共通理解並びに防止の努めている。